



令和7年度 「小学生を対象とした建設業しごと体験会」を開催しました。

～ひがししかわ建設人材育成事業～

1. はじめに

令和7年度「小学生を対象とした建設業しごと体験会」を開催しました。

この取組は、**小学生を対象に、建設業の様々な仕事を体験していただくことで、建設業の魅力を伝え、興味や関心をもってもらい、将来の建設業を担う人材育成を目的**としております。

今回は、矢祭町立矢祭小学校の5年生（39名）に体験していただきました。



2. 体験会内容

- 日 時：令和7年11月6日（木） 9：10～11：40
- 対象小学校：矢祭町立矢祭小学校
- 参加人数：5年生39名、教師等3名 計42名
- 体験場所：久慈川河川敷（ユール矢祭裏河川敷）



3. 体験会状況



4. 各体験の様子

体験① コンクリートを作ってみよう！



- ◆ セメントに水を加えてコンクリートを作成し、熊の型に流し込みました。
- ◆ 早く固まるセメントを使ったので、その場で固まるまでを体験し熊の型から外しました。かわいいコンクリートの熊がたくさんできました。



体験③ 測量機器を使って宝探ししよう！



- ◆ 宝の埋められた座標を測量機器の受信機を使って移動ながら探し出します。
- ◆ 自分はどの地点にいるのか、どっちに移動すれば宝に近づくのか、仲間と協力して進みます。
- ◆ 宝の埋められた地点にたどり着き、みんなで掘り出すと、見事に宝を発見しました。

体験② 重機に乗ってみよう！



- ◆ 大型重機に試乗しました。
- ◆ バックホウの操縦席に乗り係員の指導の下、自分の操縦で大きなショベルを上下に動かしました。
- ◆ 重機の音や振動、操縦の難しさを体感しました。

体験④ ドローンを操作してみよう！



- ◆ ドローンを自分で操縦し、着陸地点へ飛ばしました。
- ◆ 上空から自分たちの撮影にも挑戦し、みんな元気よくドローンに向かって手を振り楽しみながら、建設現場でのドローンの活用方法を学びました。
- ◆ 風が吹いたりして操縦は 難かったようですが、慎重に操作し着陸に成功しました。

5. アンケート (抜粋して掲載しています。)

重機を動かしたり、ダンプで
クマを作ったり、ドローンを操縦したり
宝を探索したりして楽しかったです。
建設は人間にとって大切な仕事だとい
うことができました。



コンクリート作りで、クマを作りました。みんながは
いっている人もいたけれど、自分ではうまくでき
たかな、と思いました。ドローンではさすがに
いそがしうをできて、びっくりしました。
とてもいい勉強になりました。



4つも楽しい体験をすることができていい
思い出を作ることができてうれしかったで
す。重機のそう作をするときは力かけんが
くしむかかいいと思て、重機を動かしている人
がすごいな、さすがだなと思いました。

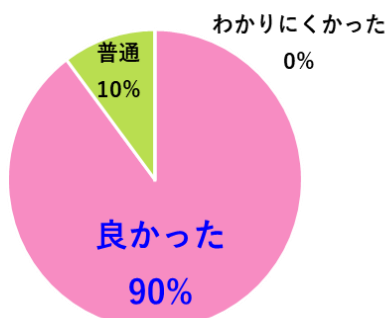


重機に乗ったり、コンクリートでクマを作ら
のがとても楽しかったです。建設業の
しごとの体験をして、色々学べて良かった
です。

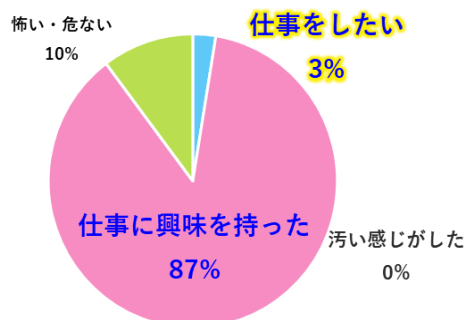


コンクリートを作ってみようでは、一生けんめい
楽しく取り組みました。重機にのってみようでは、しバー
を下げたり、あげたりして楽しかったです。宝探しでは、
みんなと協力して、宝をみつけることができました。ドロー
ンでは、友達と協力して、楽しかったです。

Q 見学会の内容はどうでしたか？



Q 建設業の仕事について
どんな印象を持ちましたか？



今回の現場見学会が、
子どもたちに建設業の魅力を
知ってもらい、
興味をもってもら
きっかけになればいいね！



ほかにも、たくさんの感想をもらいました。子供たちの感想は、大人たちの感性にはないものもあり、
気づきを与えてくれるもので、楽しく興味を持って読ませていただきました。

このように子供たちが楽しんで参加し、様々な視点から建設業に興味や関心をもってもらえたことは、

建設業全体の励みになります！

～ 開催にあたり、福島県建設業協会県南支部のご協力をいただきました ～



【問い合わせ先】

福島県県南建設事務所

(担当者) 主幹兼企画管理部 柳沼 威 電話：0248-23-1603 (直通)